



男子シングルスで銅メダルを獲得、日の丸をまとい歓声に応える錦織圭＝リオデジャネイロ (共同)

# 錦織「国背負う」実感

【リオデジャネイロ】テニスの男子シングルス3位決定戦で錦織圭(26)は、清食品が、(26)を激闘の末に6-

2、6-7、6-3で破り、日本テニス界で96年ぶりのメダルとなる銅メダルを手にした。

(20)23、30面に関連記事

日本勢で1920年アントワープ五輪の銀



- ① この記事の主見出しを書きましょう。
- ② 錦織選手は、何メダルを手に入れましたか。また、それは、日本テニス界で何年ぶりのメダルとなったのですか？  
メダルで、  
年ぶりのメダル
- ③ 記事の中で、錦織選手は、どういうことが心地良かったと言っていますか？

## 96年ぶりメダル 「東京五輪楽しみ」

メダル以来の快挙を達成すると、誇らしげに両手を空に掲げた。国を代表するのは通常のツアー大会とは違う。日の丸のために頑張るといのは心地良かった。日の丸を肩に巻いて声援に応えた。

成績が世界ランキングのポイント対象にならないリオ五輪を目指すには難しいもあつた。動機づけは、国を背負うことへの自覚。錦織は以前から「五輪のインパクトは日本人には特に大きい」と意欲を示していた。その思いは大会を通じてさらに強まった。活躍する他競技の日本勢から刺激を受け、「日本のため」と言う大げさだけど、それくらい気持ちでやっていた。今までにない感情。

年	回数	結果
2008年 北京	1回戦	● シュットラー(ドイツ)
12年 ロンドン	1回戦	○ トミック(オーストラリア)
	2回戦	○ ダビデンコ(ロシア)
	3回戦	○ フェレール(スペイン)
16年 リオ	準々決勝	● デルポトロ(アルゼンチン)
	1回戦	○ ラモス(スペイン)
	2回戦	○ ミルマン(オーストラリア)
	3回戦	○ マルティン(スロバキア)
	準々決勝	○ モンフィス(フランス)
準決勝	● A・マリー(英国)	
3位決定戦	○ ナダル(スペイン)	

※リオはリオデジャネイロ

正直、4年後(の東京五輪)が楽しみ。4年前より強くなり、責任が増したからこそ、3度目の五輪でその意義を深く実感することができた。

14年の全米オープンで準優勝し、四大大会の頂点は間近と思われたが、その後トップ選手のマークが厳しくなった。世界1位のノバク・ジョコビッチ(セルビア)には9連敗、五輪2連覇を果たしたアンディ・マリー(英

国)には準決勝で屈して4連敗。壁の高さを実感しながらも「自分らしいプレー」だけは忘れなかった。「最高のバックハンド」と評される伝家の宝刀を信じ、最後まで攻めた。メダルを首にかけた。錦織は「重かったし、いろんな思いが頭を駆け巡った。それに、隣のアンディがすごく高いところをいた。やり切った満足感と、頂点に届かなかった悔しさ。しかし、ナダルに勝ったのは大きな収穫になる。四大大会初制覇への手応えをつかんだ。

- ④ この記事を読んだ感想を書きましょう。

氏名( )

NIEワークシート／小学校高学年～中学校／国語、道徳、総合、朝NIE